

わくわく国際化プロジェクト

代表者 藤本美貴（経済4年）

構成員 坂元大助（工学M1年） 香川苑子（人文3年） 植田直樹（経済3年）
サゼン（教育M1年） 田熊聖樹（教育3年）

1. ウェルカムパーティー1

今年度はじめのイベントとして、60人程度を集めたウェルカムパーティーを開いた。ダンスパーティーを中心とした。

2. ポットラックパーティー

6月に留学生と日本人学生を招いて、自分の国の料理を作ってきてもらいみんなで一緒に食べるポットラックパーティーを企画した。

3. セタフェアウェルパーティー

7月には、七夕を意識して、短冊や笹で会場装飾を施し、60人程度の来場者を迎えてのパーティーを行いました。

4. ウェルカムパーティー2

10月15日には新留学生を招いての Welcome Party を開いた。今回のアイスブレイクの内容はジェスチャーゲームを行なった。図1にその様子を示す。その下の写真は、雑談会として時間を設けた。



図1 ジェスチャーゲームの様子



図2 雑談会の様子

5. ハロウィンパーティー

ハロウィンに向け、10月に仮想パーティーを行った。各自思い思いの仮想でパーティーに参加し楽しんでいるようだった。当日が雨だったため、人数は予定より少なめの70人程度だった。

6. 11月～現在に至るまで

ハロウィンパーティーを最後に、YUISAとしての国際交流の場は設けることができないでいる。何故ならば、9月下旬にメンバー内でのプライベートな揉め事があり、メンバーのうち二人のどちらかが、YUISAをやめなければいけないような状況になった。10月のハロウィンは一年を通して、みんなが一番行いたいイベントだったため、メンバーのまとまりはかろうじてよかった。しかし11月に入り、次第にメンバーのまとまりが悪くなった。そこで会長として、どのような経緯でもめているのかを聞いたところ、9月下旬に問題が起きていたことを初めて知った。その事には外部の人間も絡んでおり、収集がつかない状態になっていた。そのため、もめている二人を呼び出して、一人ずつ話をしてみたが、その場では仲良くできると言ったものの、後日そのうちの一人から、サークルをやめたいというメールがあった。理由を尋ねると就職活動のためと言い張ったが、揉め事のことで話をしてから火が浅かったので、直接の理由はそのことだろうと思い、彼を引き止めなかった。また、その揉め事をきっかけにメンバーの中の3年生、大学院の一年生の何人かが就職活動を理由に参加が難しくなると言ってきた。そのため、いきなりメンバーの何人かとは連絡が取れなくなり、活動を行うにも人が少なすぎるということから、企画していたツアーなども全て行えずじまいに終わってしまった。私個人の意見としては、学校に予算を組んでもらって本来ならば、もっと有意義に全て使い切りたかった。予定していたイベントもなるべく多く行いたかった。正直、こんな事でグループのメンバーがバラバラになるとは予想していなかったし、予想していた以上にサークルにおける団結力は無いのだと感じた。あんなに一生懸命協力して作ったプレゼンはなんだったのだろう、と無念の気持ちでいっぱいだった。しかし、この報告書を読んでいるサークルの会長の人たちにこの場で伝えられることは、サークルのなかで起きていることが、けっして小さい事でも早めの対処が大切だということを知ってほしい。残念ながら私のサークルはもう活動できるような状態ではないが、もっと早くに気が付いていたら改善できたかもしれないと思う。メンバーの人数が多い少ないに関わらず、グループのモチベーションを維持するためにも、問題はなるべく早くに解決すべきだとおもうし、もしできることならば、問題を避けるためにあらかじめいくつかの決まりごとを作ることも大切かもしれない。

報告書にこのような内容を書かなければいけないことがとても残念だが、他のグループが私のサークルのように活動できなくなって欲しくないため今回は記載させていただきました。